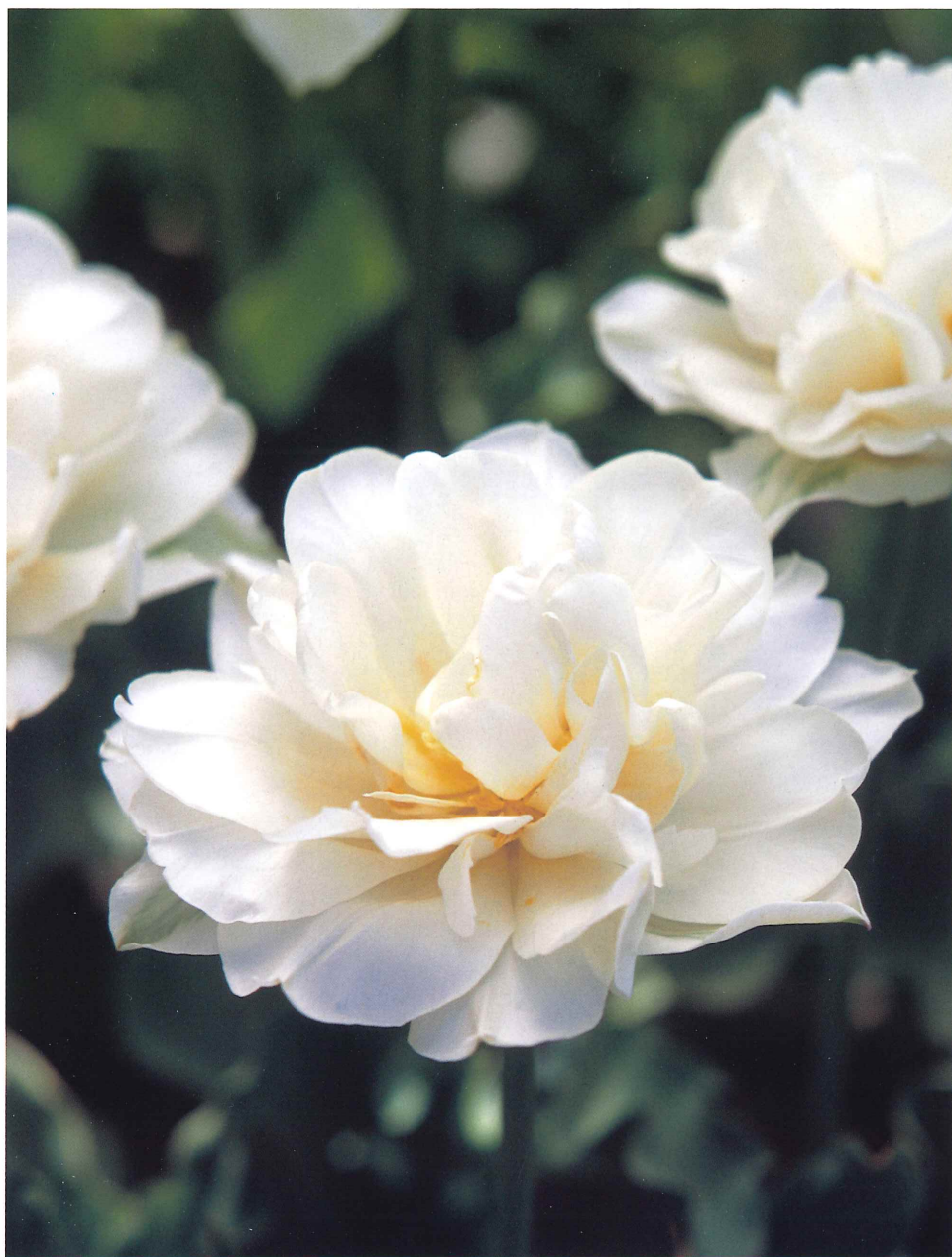




チューリップ。 四季だより

『チューリップ‘マウントタコマ’／T. Mount Tacoma』（八重遅咲き）

第2回ジャパン・フラワーバルブ・オブ・ザ・イヤー賞受賞品種。2001年に日本でもっとも注目すべき球根花としてオランダ国際球根協会が選出。

【写真提供】富山県花卉球根農業協同組合

2001. 秋号
Vol.20

キャシー中島トークショーより

去る、八月四日より十九日までの十六日間、チューリップ四季彩館ホールにおいて、『キャシー中島のキルト物語〜花いっぱい』を開催しました。その開会式の後、午前と午後の二回にわたり、キャシー中島さんご本人によるトークショーが行われました。そのトークショーの一部をご紹介します。

初めまして、キャシー中島です。
今回はこの暑い中、四季彩館で私のパッチワーク展にたくさんの方々にお集まりいただいて本当にありがとうございます。私もがんばっているいろいろなお話をしたいと思っています。

展示はいかがでしたでしょうか。
私のパッチワークは、色もデザインもまさに私の独断と偏見のもとに作ったもの



のです。私がパッチワークを始めたのは二十歳の時です。始めた当時はやはり、ただ単に四角つなぎとか、そういうものでした。その後、このような自分の世界を作ろうと思ったのは、パッチワークの教室やパッチワークのお店を持った頃です。それから、十七、



作っていきたくて思っていました。

会場の入り口から入ってすぐの所に、私自身が考え「立山とチューリップ」というイメージで作ったステンドグラスキルトが展示してあります。ご覧になりま

したか？そして、そのステンドグラスキルトの横に本物のステンドグラスのランプがあったと思います。それも一緒にデザインし、仲間のアーティストに作ってもらいました。

少々変わったキルトの生地を使用しているのがわかるでしょうか。まわりのボーダーの生地はプリントのものですが、中の染めの生地は手染めです。空のイメージで、山のイメージで、花のイメージで、葉っぱのイメージといった風に染めてもらったものです。自分では染めることができないので、アメリカにいる友人に染めてもらっています。少し透明感があつて空に見えていると思います。「ああ、チューリップが咲いている時ってこんな感じだなあ」といった風に思い出していただけならうれしいです。

会場の中へ進みますと、バラの花のキルトがたくさんあつたと思います。私はバラが大好きで、私の家では、御殿場の家でも東京の家でもバラを育てています。御殿場の家では庭で育てているのですが、東京ではベランダです。全部鉢植えなので水やりが大変。地植えなら、一日ぐらい忘れてもなんとかなりますが、鉢植えだと、八時から十時の間にお水をあげなければいけません。ちょっと、朝寝坊をしたりすると、くたつとなつてだめなのです。子供と一緒にですね。夫との二人の共通の趣味がバラを育てること、御殿場では六十種類のバラを、東京の方では三十種類育てています。そのバラをスケッチして、そしてフリーザーペーパーという紙に書いて、それをきれいにアイロンドって、縫い付けて、というデザイン



ンをして作ったものがこちらに展示してあるものです。

さて、この会場内に展示してあるものは、デザインと色は百パーセント私が決めています。その中で、ここに展示してある約二割は私自身が作ったもの、三割は生徒が作ったもの、後の五割は御殿場の工房で作ったものです。

今、みなさんに見ていただいている「ハワイアンキルト」というのは、十二、三年前にも本などで何度も紹介していたのですが、その当時は全然人気がありませんでした。「えっ、これがパッチワークなの？こんな大きいパッチワークじゃない」とか随分言われたものです。しかし、今、大変人気です。がんばってき



たかがあるなあと思っています。

ハワイアンキルトは、とっても簡単なので、誰にでもできます。小さいときに切り紙遊びってしましたよね。紙を八つにたたんで、雪の結晶を切り抜く、あれだと思ってください。デザインにはいくつかルールがあつて、まず、お花や植物それから、お魚、貝類。あと、王様の道具などがデザインされています。

その向こう側には、十六人の手によって作ったフレンドシップキルト、続いて、ステンドグラスキルトが展示してあります。

今回、何枚かではぎ合わせたような作品、何人かの名前が書いてあるものが何点あると思います。実はこれは、四季彩館でパッチワークの展覧会をすることを生徒に話したところ、富山には私たちがなかなかいけないけれども、富山のパッチワークが好きな方々にぜひ私たちの作品も見てください、ということ、みなで作ってくれたのです。ウクレレのデザ

インやいろいろなお花のデザインなどたくさんありますが、作った全員がベテランではありません。どちらかといえば初級の人が多いです。でも、がんばって、砺波のみなさんに見ていただこうという気持ちで作ったものなので、一生懸命作ってあるかどうかだけ、暖かい気持ちで見えていただけたらと思います。

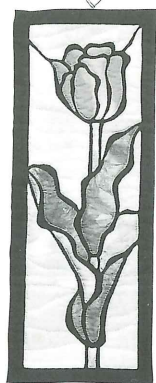
私がキルトをやっている時というのは頭が真っ白になるので、すぐリラックスした時間です。何も考えずに、同じことをやっていれば良いのですから。特にキルティングは、線の上を気持ちよく、細かく縫えたらうれしいなと思ひながら縫っています。怒っていると、針目が踊り、まっすぐではなくなります。だから怒らないようにしようと思ひながら縫っています。

私の教室に来ている方で一番年上は、八十六歳のおばあちゃんです。九十二歳まで縫ってくれる約束をしています。なぜ九十二歳かというと、イギリスのロンドンにボストン婦人という方がいたので、その方は七十二歳でパッチワークを始めて、九十二歳まで縫い続け、素晴らしい作品を残したというお話があるのです。それで、私もやはり九十二歳というのがひとつの自分の目標で、それがいまだ針を持っていられたら最高だなあとと思います。サイン会をしている時、「やってみたくなったのですが、私ぐらいのおばあちゃんじゃだめでしょうか」って方がいらしたのです。全然関係ないですね。だいたいそういう人って七十に届くか届かないかの人です。その八十六歳の方は、今、

私の親指ぐらいの大きさのヘキサゴン

(六角形)を二千枚ぐらいつなげています。また、十六歳の生徒もいます。だいたい若い生徒は、ハワイアンキルトを好んで作っています。ハワイアンキルトは、比較的年齢が若い人に人気です。ボーイフレンドのためにキルトを作りたいといった風な気持ちで来ているようです。

私の教室では、縫うことは半年もすれば全部覚えてしまいます。簡単ですから、そして、どうやってやればうまく縫えるか、コツを教えています。後は、今日ワイドショーで見たことなどいろいろなことをしゃべっています。すると、みんなが、そうよね、こうよね、うちはこうだね、あなのよ、と言っているうちに気持ちがあつと落ちていきます。そして、「じゃあ、次回までにここまで縫ってきてね」っていうと、「はい、わかりました」って言って帰っていきますが、次回全然縫ってきません(笑)。そして、縫わない人は作品も持ってきません(笑)。私は「だめよ、私に見せようと思って持



ってきてちょうだい。」って言う話をするので、でも、いいのです。それで気持ちのバランスが取れて、そして、こういうものを作ったりするのが楽しい、また、たまにはこういうものを見るための旅に行く、それから、私のパッチワーク展の時にわあっとみなさんで来てくれる、それだけで充分だと思います。

今回も、明るい色のキルトをたくさん持ってきました。キルトというと、アメリカンパッチワークでは茶色系とか、落ち着いた色が多いですが、それはそれで、素敵なものだと思います。でも、ぱあっと花が開いたような、気持ちがスカッとするようなこういったキルトも見えて、「ああ明るいのもいいなあ」と思ってもええたら幸せです。

略歴

本名 勝野 カノ 八千代 やちよ

一九五二年 ハワイ・マウイ島生まれ

一九六九年 レナウンのイエイエガールとしてC.F.デビュー

一九七九年 俳優の勝野洋と結婚。

一九九九年 静岡県御殿場に「キャシーズキルトミュージアム」オープン。

現在 タレント、パッチワークディレクター、「スタジオK、K、K」の主宰者、テレビ番組の司会者として、各方面で活躍中。著書に「キャシー中島のパッチワーク物語」「キャシー中島のハワイアンキルト」(共に婦人生活社)、「ハワイアンキルト」(NHK出版)など、多数出版。

新しい チューリップを 作ろう!

～富山県産チューリップの
ニューウェーブたち～

これまで、富山県農業技術センター野菜花き試験場によって作り出され、農林登録が行われた二十二品種については、以前にも四季だよりで紹介しましたが、球根生産者によって作り出された品種がこれまでに約百品種あります。その中から、近年、富山県内のチューリップの球根生産者によって作り出され、県下唯一の専門農協である富山県花卉球根農業協同組合で認定されている品種二十一品種を中心に紹介します。

『新品種作りへの想い—誇りと情熱』

「隆貴」の生みの親、石田隆紀さん(六十二歳)に聞く



▲石田さんが育成した‘ボナンザゴールド’の畑(手前)

石田隆紀さん(六十二歳)は、チューリップの球根生産者である父・甚三さんのもとで、高校生の頃からチューリップ作りを手伝っていました。昭和三十四年からは本格的に球根生産に携わり、現在まで約四十年経ちます。「栽培中はチューリップ畑をこまめに見て歩くことが何より大事」と石田さんは言います。平成七年に富山県花卉球根農業協同組合より認定され、自分の名前から取って名づけた品種、**「隆貴」**の育成も、畑を見回っている時に桃色の、ローズウイングスの畑に咲く一輪の赤く美しいチューリップを見つけたことがきっかけでした。この枝変わり(芽条変異)と呼ばれる現象は一種の突然変異です。元の品種が持つ形質の一部が変化し、その他の性質が変化していない場合、交配による新品種育成と比べて栽培管理がしやすいという利点があります。ある一つの品種のチューリップ

新しい品種を育成することの楽しみは何ですか、の問いに、「変わった花を見つけたことは誇り」との答えが返ってきました。長い年月をかけて一つの品種を育成することは、大変根気のいる仕事です。しかし、石田さんは「苦労はあまり感じない」といいます。唯一の気がかりは、市場での評価だといいます。何しろ、市場に出回るのは十何年も後のこと、先見の明が必要となります。今年から大手の種苗会社のカタログにもお目見えした**「隆貴」**を、生みの親である石田さんは、今年も一反作る予定だと意気込んでいます。現在でも、覆輪の花に斑入りの葉を

ブが咲く畑から異なるチューリップが咲いたからといって、すべての花が歓迎されるわけではありません。実際、後に**「隆貴」**となる赤いチューリップの他にも、数種の赤いチューリップや斑入りの葉を持つものが発見されています。それまでにまだ発見されていない美しい花、珍しい色の花や葉を持つものなど、「これはいけるな」と思ったものを、新しい品種として分けて栽培することです。そして、一千球程に増えた時点で始めて野菜花き試験場や球根組合において栽培試験が行われた上で認定を受けます。その後、販売品種として扱えるだけの数量、一反(一〇アール)程度にまで増やすのに約十五年の年月がかかります。



▲‘隆貴’ (SL)

持つチューリップを含め、二品種育成中であるということです。

これからの目標は、の問いに「今後は、砺波の特色を持つチューリップを残していきたい。」と力を込めて話してくださいました。「赤・白・黄色が無難かもしれない。とはいっても、その赤・白・黄にも様々な形と色がある。」そして、石田さんも、生産量がこの数年減少し続けている砺波の球根生産を心配します。「チューリップ生産に意欲のある生産者が少なくなってきたように思う。生産者の高齢化問題も深刻である。若い人が育っている地域もある。これからは、集約栽培を行い、協業化をしていかなければならないのでは。」

一方、そろそろ、後を継いでいる息子さんに下駄を預けようとも考えています。「私も三十代のうちに父親から全権を任された。そろそろ、私も息子に任せる時期である。しかし、まだもう少し早いかな。」チューリップ栽培は奥が深いものです。石田さんはまだまだ現役。今後、自分の作るチューリップに情熱を傾け続けます。

▼「チューリップ」(T)



▼「かがり火」(SL)



富山県のチューリップ遺伝資源センターでは、約二〇〇〇品種のチューリップが保存栽培されていますが、その中で唯一ない色が「青いチューリップ」です。何百年という伝統を持つオランダの品種改良の歴史をみても青色はありません。遺伝資源センターの畑には、ブルーチャンピオン、ブルーダイヤモンド、など、「ブルー」と名のつくオランダ生まれの品種が約十品種ありますが、どれも青色ではなく紫色です。育成者の「青いチューリップ」に対する強い憧れが品種名となって表現されているのだと思います。オランダにおいても富山においても幻の青いチューリップは永遠の課題であると言われています。富山県農業技術センター野菜花き試験場においても今までに紫色と白色の品種を交配して、その中間的な青色を目指したり、青に近い藤色の品種同士を盛んに交配するなど、いく

夢の青いチューリップの育成を目指して

つかの試みが行われてきましたが、どれも思ったような結果は得られませんでした。さて、チューリップの花底にわずかながら青に近い色を持っている品種がいくつかあります。ノートルダム、ダリーントン、エスター、その他、富山生まれの「エキスポ・ハーモニー」、白雪姫、もそうです。このわずかな青色をどうやって花びら全体に展開させるかが現在の課題となっています。花の色を決める色素の中で、青色の発現に関与している色素は「アントシアニン」です。最近、国内の研究機関において、従来、細胞内では発現しにくい青色が、補助的な色素の存在によって安定的に発現できる可能性が示されているそうです。世界的にみても、日本はこの色素に関する研究が進んでいるとのこと。一日も早く、富山で夢の青いチューリップが誕生することを期待したいと思います。

組合認定品種

品名(系統)	色	認定年度	育成者
化粧桜(F)	桃白	平成1年度	
金華山(SL)	黄にオレンジ輪	//	今枝 忠雄
白雪(T)	白	//	
白水園(T)	白	//	吉江 繁
直助(T)	紫	平成3年度	舟根 正義
春の粧(T)	赤黄	//	清都 常好
火の舞(DH)	赤	//	小林与三雄
紅姿(SL)	赤	平成4年度	石田 甚三
かがり火(SL)	黄に赤フレーム	//	藤田 隆正
微笑(SL)	赤	平成7年度	浦滝 俊雄
ボナザール(DE)	オレンジ	//	石田 隆紀
隆貴(SL)	赤	//	石田 隆紀
さちこ(T)	赤	//	堂前 孫一
茜(DL)	赤	平成8年度	青木 長次
キャニースポット(SE)	赤	平成9年度	清都 和文
由子(T)	桃白	//	清都 和文
紅美人(DH)	赤	//	浦滝 俊雄
楊貴妃(L)	桃白	平成10年度	藤田 隆正
金太郎(SL)	黄に赤フレーム	//	藤田 隆正
新拓(DL)	赤	平成11年度	青木 長次
紫の君(SL)	紫	//	小林真一郎

▼「楊貴妃」(L)



▼「由子」(T)



▼「茜」(DL)

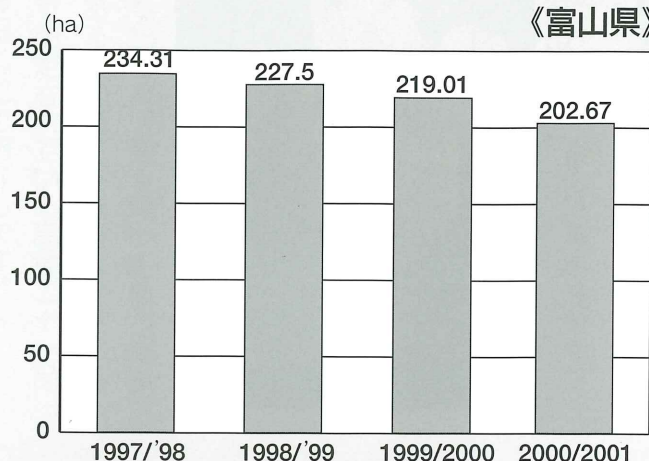


チューリップ統計

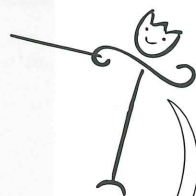
《平成十三年度版》

○ チューリップの球根栽培面積の推移

《富山県》

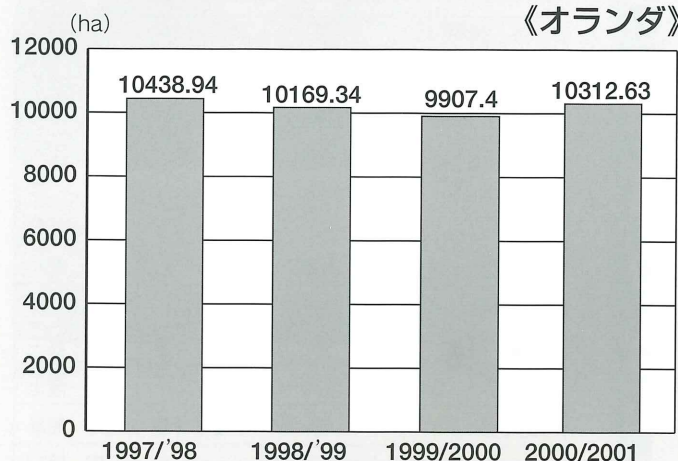


平成十三年度の富山県及びオランダのチューリップ球根の栽培状況についてご紹介します。



オランダの栽培面積は、富山県の栽培面積の約五十倍です。富山県では生産者の高齢化によって栽培面積も減少傾向にあります。オランダでも同様に生産者は減少傾向にありますが、面積には特に影響が現れていません。

《オランダ》



《富山県》

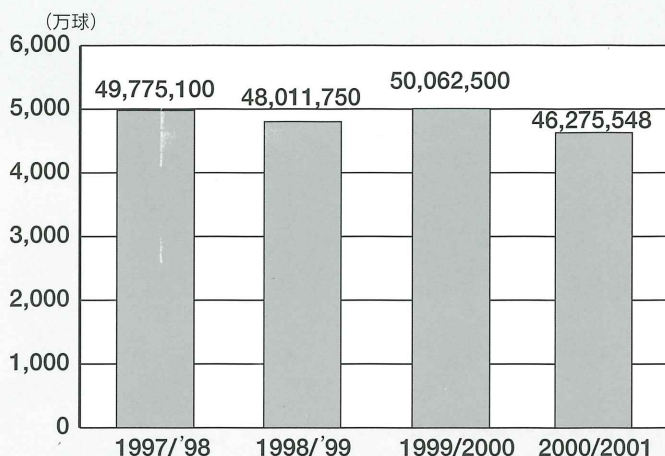
○ 品種別栽培面積TOP5

順位	品 種 (系統・色)	面積 (ha)
1 位	黄小町 (SL・黄)	17.82
2 位	白雪姫 (DH・白)	11.67
3 位	紫水晶 (SL・紫)	9.28
4 位	ベンバンザンテン (T・赤)	8.35
5 位	紅輝 (DH・赤)	6.95

《オランダ》

順位	品 種 (系統・色)	面積 (ha)
1 位	モンテカルロ (DE・黄)	637.60
2 位	ヨコハマ (T・黄)	369.76
3 位	レーン・バン・デル・マーク (T・赤に白の覆輪)	369.53
4 位	ゴールデン アペルドーン (DH・黄)	304.72
5 位	プリンセス イレーネ (T・オレンジに紫の斑)	205.47

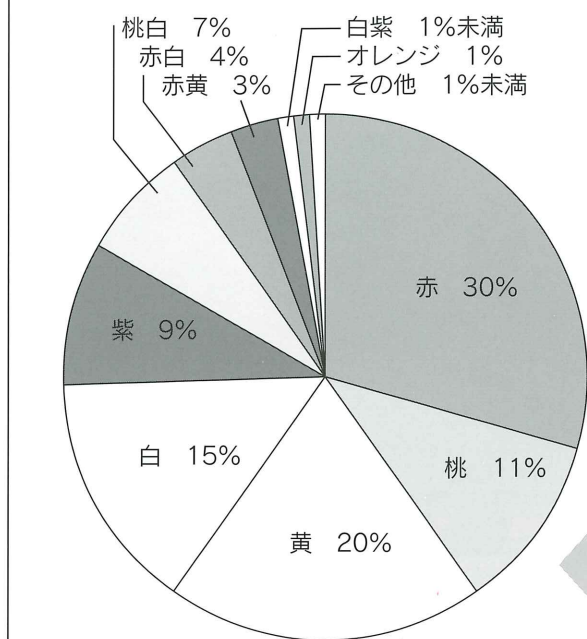
富山県は、上位三位まで二年前の順位と変化がありません(四季だより vol.14 参照)。四位のベンバンザンテン、以外は、いずれも富山県の野菜花き試験場にて育成された品種です。オランダは、二位のモンテカルロ、以外は二年前の順位と異なります。長年栽培面積が多かったゴールデンアペルドーン、の球根の劣化により栽培面積が減少し、同じ黄色の品種、ヨコハマ、が増加しています。切花に適した品種が増加傾向にあります。



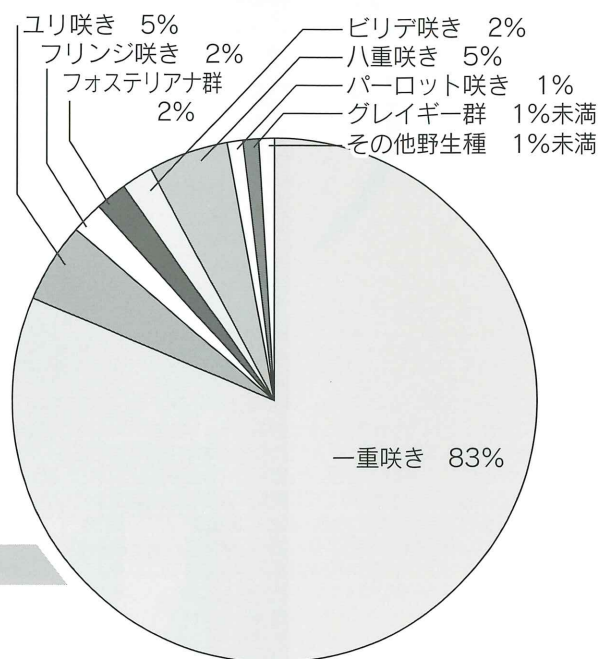
年次別出荷状況 球数(球)

年 度	球 数(球)	反収(球)
1997/98	49,775,100	21,243
1998/99	48,011,750	21,104
1999/2000	50,062,500	22,859
2000/2001	46,275,548	22,833

色別出荷割合(一重咲き)



花形別出荷割合



球根別集荷球数



種 類	集荷球数(球)
チューリップ	46,275,548
水仙	619,900
アリウム	164,890
コルチカム	243,590
クロッカス	35,400
ヒヤシンス	42,650
シラー	3,800
サフラン	69,300
フリチラリア	140
ムスカリ	11,400
プロディア	1,600
リュコジウム	4,800
オーニソガラム	13,200
合 計	47,486,218



チューリップ四季彩館
からのお知らせ

○ 秋季特別企画展

「バルーンアート展」
～花のわくわく動物園～

風船で作ったパンダやキリンなどの動物達とチューリップやキクなどの花々との共演をお楽しみください。

○チューリップ四季彩館特別企画展○

バルーンアート展

花のわくわく動物園

平成13年 11/16(金)～25(日)

チューリップ四季彩館ホール
AM9:00～PM6:00

期間中無休

オープニングセレモニー
平成13年 11/16(金) AM9:30～
チューリップ四季彩館
ホール

ふうせんの
かわいい
動物たちが
待ってるよ

土・日・祝日
ふうせん
プレゼント

特別企画展期間中入場料
(全館共通・税込)

大人・高校生	500円
小・中学生	300円

主催/砺波市・(財)砺波市花と緑の財団
共催/砺波市教育委員会・砺波市保育園連絡協議会

チューリップ四季彩館 〒939-1381 富山県砺波市中村100番地の1 TEL 0763-33-7716・FAX 0763-33-0090・URL <http://www.city.tonami.toyama.jp/>



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP GALLERY

(財)砺波市花と緑の財団

〒939-1381 砺波市中村100-1 ☎(0763)-33-7716 FAX(0763)-33-0090

URL <http://www.city.tonami.toyama.jp/>

<http://www.tulipfair.or.jp>

2001年11月発行